



## 能登半島の震災にあたって

遅ればせながら、新年あけましておめでとうございます。暖冬との予測はかなり正確なようで、例年の冬より寒さ厳しいと感じる日が少ないように思います。気象庁の長期予報の精度の高さには驚かされます。科学の力は人々の生活に欠かせないものとなってきています。1月1日に能登半島で大きな地震が起きました。天候と違い、科学の力ではまだまだ予測ができない分野です。多くの犠牲者と、被災され未だに避難所や自宅で避難生活を送られている方々に追悼の意を示すとともに一日も早い復興を願うばかりです。

大きな災害が国内で起こった場合、被災されている方々に対し、遠くの地でないもできずに心痛めているばかりの人たちは何かできることはあるのでしょうか。このような状況の中、「安全なところにいるもの」の基本的なふるまいについて言及しているものを参考にここに記しておきたいと思います。



次の3点「寛容」、「臨機応変」、「専門家への委託」を、被災の現場から遠く離れているものとして心がけるのが良いとの言説です。

「寛容」とは、こういう状況のときに「否定的なことば」を発することは抑制すべきだということです。具体的には、被災者の救援と被災地の復興に国民が思いを一つにしてあたるべきときであり、他責的なことばづかいで行政や当局者の責任を問い詰めたり、無能力をなじったりすることは控えることが重要であること。また、モラルサポート（精神的な支援・心の支え）を惜しむことなく実行することも必要です。

「臨機応変」とは、平時のルールと、非常時のルールは変わって当然であるということです。地震の直後から各地では個別的判断で、さまざまな施設やサービスが被災者に無料で提供されていることや、新たな申し出が続いている状況がそれにあたります。こういうときこそ硬直したルールに縛られず、ルールの弾力的運用ということの本質が試される時だと思います。

「専門家への委託」とは、社会的共通資本を維持するために政治イデオロギーも市場原理も関与すべきではないということです。上下水道や電気、通信や道路や鉄道といった社会的インフラ、あるいは司法や医療や教育といった制度資本について

は、管理運営を専門的知見に基づいて統御できる専門家に「委託」すべきであり、これを政治的理念の実現や市場での取引の具に供してはならないという考え方のことです。私たちは私たちが委託した専門家の指示に従って、整然とふるまうことが必要です。

以上のことを、遠くでいるものの責務として心に留めておくことができればよいと考えています。皆さんも是非、自分にできることを考えてみてほしいと思います。

学校では、避難訓練を通して防災について生徒たちに学んでもらっています。全校道徳では、3学年一緒にHUG（避難所運営ゲーム）を行い、下福田中学校の避難所運営を疑似体験しています。備えることはある程度できますが、最後は各自、各ご家庭の判断になる部分も多く出てくると思います。ぜひご家庭でも大きな災害時への対応について細かく決めごとを作るなど話し合いをお願いできればと思います。（校長 竹中 崇）



## 2年生 百人一首大会

1月9日(火)に2年生が百人一首大会を行いました。先生方が代わる代わる読み札を読み上げると、生徒たちは真剣な面持ちで取り札に向かっていました。たくさん取れた生徒も、あまりとれなかった生徒もみな楽しそうな笑顔で競技していました。



## 今後の予定

- |    |         |     |                |
|----|---------|-----|----------------|
| 2月 | 5日      | (月) | 朝会             |
|    | 6日      | (火) | 給食費集金          |
|    | 7日      | (水) | 2年学年集金日        |
|    | 8日      | (木) | 新入学児童説明会       |
|    | 14日     | (水) | 公立共通選抜学力検査(入試) |
|    | 15日・16日 |     | 公立共通選抜特色検査・面接  |
|    | 20~21日  |     | 学年末試験          |
|    | 26日     | (月) | 3年スポーツフェスティバル  |
|    | 28日     | (水) | 公立共通選抜合格発表     |
| 3月 | 12日     | (火) | 第40回卒業証書授与式    |